

## 計算の科学とシミュレーション

大阪大学サイバーメディアセンター 教授 小田中 紳二 先生  
数理工学科 3年次対象 担当教員：和田 健志

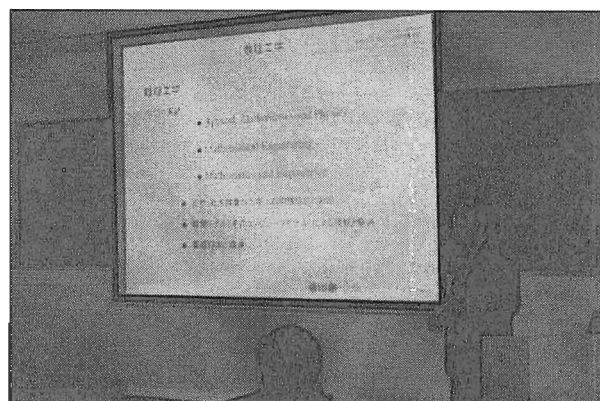
### 実施概要

この特別講演は平成20年11月19日（水）5限に、熊本大学工学部数理工学科の授業科目「実験数学」の中の一つの講義に割り当てて行われた。受講対象者は主に数理工学科3年次生であるが、1, 2年生にも受講を強く呼びかけた。受講者は学部生約40名であった。

小田中先生のご専門は半導体工学と関連した数学及び数値解析で、以前は企業の研究所で半導体の設計に携わっておられたという、数理系の科学者としては異色の経歴の持ち主である。数学とものづくりの関連を紹介するこの特別講演の趣旨からしても最適任の先生と言うことで、お忙しい所を特にお願いして熊本に来て頂いた。講演では半導体工学における微分方程式とその数値シミュレーションについてお話して下さった。また、実用面のみならず、論理的思考力の面からも数学を学ぶことの重要性をご説明頂いた。学生からも多くの質問があり、非常に盛況であった。

学生による講義の感想をいくつか紹介したい。

「今まで講義に出てきた定理や式がたくさん出てきたので『自分が習ったことがこういう使われ方をするのか』などの感動がありました」「数学が工学の世界と深く関わっていることを改めて実感しました」  
以上



## 統計学の使い方 -判別分析を例にして-

九州大学大学院数理学研究科 教授 西井 龍映 先生  
数理工学科 3年次対象 担当教員：高田 佳和

### 実施概要

この特別講演は平成20年12月19日（金）5限に、熊本大学工学部数理工学科の授業科目「計算数学第二」の中の一つの講義に割り当てて行われた。受講対象者は主に数理工学科3年次生であるが、1, 2年生にも受講を強く呼びかけた。受講者は学部生約40名であった。（写真1）

西井先生のご専門は統計学であり、講演では統計学の様々な分野への応用について、判別分析を例にして基本的なところから最先端に近い部分まで分かりやすくお話して下さ

